

目次

著者紹介	2
本書の使い方	3
目次	6

第1編 地域社会診断 9

第1章 情報収集の理解と実際 (高橋佳子)	10
1. インターネットによる保健統計情報の収集	10
2. その他の情報収集	16

第2章 質問票調査の企画と設計, 作成の実際 (高橋佳子)	20
質問票調査の企画と設計, 作成の実際	20

第3章 食事調査データの整理(食事摂取量の把握)	
(今枝奈保美)	32
1. コード化のための食品成分表の活用	32
2. コード化の実際	36

第4章 質問票調査の分析(データの処理と解析)	
(佐藤祐子)	48
質問票調査の分析(データの処理と解析)	48

第5章 食生活の評価 (高橋佳子)	66
1. 食習慣調査の評価	66
2. 食事摂取基準の活用	71
3. 食事調査の解析	81

第2編 公衆栄養活動のニーズアセスメント 83

第6章 グループインタビュー法 (中谷弥栄子) 84

グループインタビュー法 84

第7章 課題抽出のためのKJ法 (中谷弥栄子) 92

KJ法による課題の抽出 92

第3編 公衆栄養活動の企画(立案)・実施・評価 99

E県G市情報 100

第8章 プリシード・プロシードモデルの活用

(鈴木三枝, 小林陽子, 藤井厚志) 102

プリシード・プロシードモデルの活用 102

第9章 優先課題の検討 (鈴木三枝, 小林陽子, 藤井厚志) 108

1. データに基づく優先順位付け 108

2. 地域住民参加による優先順位付け 113

第10章 目標値と指標の設定 (鈴木三枝, 小林陽子, 藤井厚志) 120

1. 目標値の設定 120

2. 目標値の評価方法 126

第11章 事業計画の作成とその評価方法 — 予算を含めて —

(鈴木三枝, 小林陽子, 藤井厚志) 130

1. 事業計画の作成 130

2. 事業計画の評価 138

3. 事業計画の予算 144

第12章 公衆栄養活動の報告書の作成

(鈴木三枝, 小林陽子, 藤井厚志, 草間かおる) 148

公衆栄養活動の報告書の作成 148

参考 E県とG市の健康増進計画概要 155

E県健康プラン21 (2期計画) 156

G市健康づくり計画 (平成28~37年) 162

索引 169

コラム目次

情報収集で理解しておきたい用語 11

検定で仮説を立てる理由 52

正規分布・非正規分布について 56

集団における食事摂取状況の評価を行うためのカットポイント法の概念 75

グループダイナミクス (集団力学) 理論 87

ブレインストーミング 93

エビデンスとは何か 105

プリシード・プロシードモデルの3原則 107

目的設定型アプローチと課題設定型アプローチ 118

目標値設定の意義 122

改善案を考える意義 125

予算の獲得 146

報告書とレポート, 小論文との違い 152